



「♪夏も近づく八十八夜♪ 野にも山にも若葉が茂る♪」山々は、木々の若葉が太陽に照らされ美しく光りを放ちます。残雪が解け始め、川となり、山肌を潤します。「ホーホケキョ」と春告鳥(鶯)の鳴き声が響き渡ります。立春が過ぎて八十八夜、50日過ぎて茶摘みのシーズンです。本格的な春が山にも里にもやってきて、人々がうきうきしている様子が目に浮かびます。関東では田植えがそろそろ始まるのでしょうか。昔から暦を使って農作業の目安としてきました。このところの温暖化で、いろいろな事が早まっていて暦どおりとはいきませんが、いつまでも大事にしていきたい暦の習慣です。

連休中に津久井湖城山公園に行ってきました。9匹ものこいのぼりが、爽やかな5月の風を受けて、空高く元気に泳いでいました。久しぶりに見る光景に、背筋が伸び、大きく深呼吸。力がみなぎって気がしました。この日本古来の習慣が、最近ではあまり見られなくなってしまいました。場所が無くなってきてしまったせいででしょうか。我が家でも男の子が生まれた時、小さなこいのぼりを掲げました。しかし、テレビのアンテナに絡みついで、大変なことになってしまった50年ほど前の苦い思い出を今でも思い出します。町中では無理だったんでしょうね。こいのぼりが可哀そうです。連休が終わり、日常が戻ってきました。

5月に入り本格的に公民館事業が始まります。まずは健康まつりハイキング、今年の歩行距離は少し長いですが、多くの皆さんが参加されることを期待しています。秋に行われる学級の準備も始まります。準備委員のみなさんが集まって、今年度の学級の内容について話し合いが行われます。例年にも増して皆さんが集える、楽しい、知的好奇心をくすぐる企画が行われると思います。準備委員の皆さん、よろしく願いいたします。

橋本公民館 館長 伊藤孝久

